

公益社団法人日本青年会議所 2024 年度 基本方針

徳島ブロック協議会 会長 松下 大生

<p>ブロック協議会の未来</p>	<p>想いを行動に～和の心が織りなす豊かさあふれる徳島の創造～</p> <p>LOM との距離が一番近いブロック協議会を目指し、LOM から求められるブロック協議会を実現することでさらに連携が深まり、持続可能な組織へと進化することで地域に必要とされ続ける団体を目指します。そしてメンバー一人ひとりが一歩踏み出し、人とまちを思いやり、親切心から織りなす心をもつことで明日への希望を抱け、豊かさを実感できる笑顔あふれる徳島ブロック協議会の未来を創造します。</p>
<p>ブロック協議会の役割</p>	<p>LOM との距離が一番近い存在である日本 JC の組織機構として日本が掲げる政策手法を伝え、各 LOM との連絡調整を行う役割を担います。また、今後解散を検討してくる LOM が出てくるかもしれない状況の中、それぞれの課題やニーズを把握し、寄り添い、連携することで真に必要なとされる徹底した支援を行います。そして LOM の成長できる場として機能する存在となります。</p>
<p>ブロック連携事業 (政策手法)</p>	<p>1. 地方創生による地域経済につながる仕組み構築に向けた運動</p> <p>我が国が抱える問題は少子高齢化、人口減少をはじめ経済成長の鈍化や地域間格差、社会保障費の財源確保、労働力不足など多岐にわたると考えられます。そして少子高齢化が進むことで労働生産性が悪化し地域経済が低迷することにより、さらなる少子化、経済低迷が進行すると考えられます。そこでインバウンドに着目し地域経済の好転に向けた大きなきっかけを作っていくことにより地域経済の活性化につなげます。インバウンド戦略会議(仮称)と連携し各 LOM が地域のステークホルダーを巻き込みインバウンドを推進し、地域経済活性化につなげることを目的とします。</p> <p>2. 理念共感拡大グランドデザインの情報収集・活用・推進</p> <p>近年、在籍年数の少ないアカデミーメンバーが多く、また途中退会するメンバーも見られます。一部にはなぜJC の活動を行っているのか正しく各メンバーに理念を伝えきれていない現状があります。また、現状徳島ブロックでは理念共感プロモーターや地域限定トレーナーの資格を取得してもあまり活用されていない状況となっています。そこで徳島ブロック内のトレーナーと連携し理念に共感し、自ら行動ができる人材を育成することを目指します。徳島ブロック協議会としては日本 JC が行っている JC プログラムなどを活用し、メンバーに対し理念を共感していただく場を提供します。また、2023 年度徳島ブロック協議会で開催した Purpose トレトレセミナー受講者に対し、地域限定トレーナーの取得に向けたサポートを行い、徳島ブロック内のプロモーター及び地域限定トレーナーと連携し JC のもつ理念を波及していきます。さらに、2024 年度についても、新たに理念共感プロモーター育成を目指し取り組みます。また、事業については開催することを目的とするのではなく、2024 年度の LOM の状況をリアルタイムで把握し、適宜事業を開催することとします。</p> <p>3. ブロックアカデミーにおける JAYCEE 育成カリキュラムの運用支援</p> <p>LOM に最も近いブロック協議会は地域のリーダーを育成する上で重要な役割を担っていますが、リーダーを育成するための研修環境が整っていない状況にあります。そのうえで各 LOM から収集した情報をもとに、各 LOM の課題やニーズにあわせ JAYCEE 育成カリキュラムを活用して、今後 LOM を担うであろうメンバーに対し、成長の機会を提供することを目的とします。</p> <p>4. 他者を思いやる JC カップ U-11 少年少女サッカーブロック予選大会の企画・実施</p> <p>人と人とのつながりが減少し地域社会との交流が希薄になり、他者を思いやる心や優しさ、協調性などを身につける機会が減っております。そこで、11 歳以下の感受性豊かな子供たちに対して、スポーツを通して挑戦して成し遂げる意識や素朴で純粋な親切心を育み、他者を思いやり互いに助け合うことができる人材を育成する必要があります。サッカー大会を通じて、グッドルーザーの精神を学んでいただき、勝っても負けても大きな心と強い精神力を養ってもらいます。そのうえで、参加した子供たちが思いやりの心を</p>

	育める徳島予選大会を実施します。
ブロック協議会 独自の事業	1.ブロック協議会と LOM が連携する徹底した LOM 支援
	徳島ブロック協議会内では存続が危ぶまれる LOM も出てきており、ひいてはまちから JC の理念をもった Jaycee が消えていくことが危惧されています。一人ひとりが人を思いやる親切心を持ち、まちを笑顔にする Jaycee を今後も地域に存続させるため、持続可能な LOM を再構築していくことを目的とします。そこでブロック協議会として各 LOM が抱える課題に対し、今以上に寄り添い解決に向けた直接的な徹底した支援を行います。また LOM 間との連携を深め、広域的な会員拡大に取り組みます。
	2.徳島ブロック大会 阿波池田大会の実施
	昨今、徳島ブロック協議会内の各LOMに関してはメンバー数の減少や入会 3 年未満のアカデミーメンバーが全体の 50%以上を占めることから、主管に躊躇するLOMが出てきています。その状況でも開催できるロールモデルを構築し、自らが率先して引き受ける魅力ある徳島ブロック大会を構築することを目的とし、新たなスタイルも取り入れつつ JC の理念をもった持続可能で魅力的なブロック大会を開催します。
	3.ブロックアカデミーの推進
	昨今徳島ブロック協議会内では入会 3 年未満のアカデミーメンバーが 50%以上という現状の中、ブロック内各 LOM の中ではアカデミー事業の実施が開催されていない LOM もあり、アカデミーメンバーに対して研修の場が減少しております。今後も LOM を担うメンバーへ向けての機会の場を提供し、JC 活動に対してアクティブな人材の育成を目的とします。JC プログラムを活用しながら徳島ブロック協議会として独自の手法を用いたアカデミー事業を開催します。
4.情報発信並びにホームページの運用	
	対内外に向けた JC 活動の発信のため、ホームページを基盤とした閲覧者を選ばない広範囲への情報発信と、LOM やブロックの垣根を超えた徳島ブロックからの発信として、県内全メンバーで共有できる情報発信を行う必要があります。そのうえでメンバー並びに地域の方々に私たちの信念、考え方、活動や運動を理解してもらうため、ホームページ並びに SNS を継続的に運用することで、これまで以上に JC 活動に対して理解していただき、一般の方々とのより密接な協働体制の構築に寄与することを目的とします。対内外に向けた JC 活動の発信のため、1月1日より徳島ブロック協議会のホームページを開設するとともに SNS についても投稿を行い、情報を発信していきます。
ブロックによる LOM 支援の 実施内容	<p>1.少人数 LOM に対して事業構築等に係る人的支援の実施</p> <p>2.会員拡大に向けた広域的な連携・連絡・調整の実施</p> <p>3.退会者減少に向けたフォローアップ体制の実施</p> <p>4.アカデミー事業を通じた新たなアクティブメンバーの創造</p>